

“コロナ禍”の中で きらきらと輝いた第1学期が終了！

※敬称略

1学期にがんばったこと 5年2組 大野 葵咲

今年の1学期は、新型コロナウイルスの影きょうで、学校に行けずお出かけもできませんでした。その間、家でがんばったことが二つあります。

一つ目は勉強です。特に算数と社会が苦手なので、小数のかけ算や北海道と沖縄の勉強をがんばりました。二つ目は運動です。休みの間、お父さんとキャッチボールをしたり近所の周りを走ったりして、体力が落ちないようにしました。他に家でチャレンジしたこともあります。それは料理です。色々な料理を作りました。初めて作ったロールキャベツはおいしかったです。

次に、学校が始まってがんばったことが二つあります。一つ目は算数です。5年生の算数はむずかしくなるので、家で予習をして学校の授業で復習するということがんばりました。そのおかげでテストの点数がよくなりました。二つ目は、明るいあいさつをすることです。道徳の授業で、あいさつの大切さについて考えました。それからだれにでも明るいあいさつをすることを心がけています。今では、近所の人や初めて会う人にもあいさつができるようになりました。

最後に、2学期にがんばりたいことは、9月からいよいよ始まる部活動です。体力を取りもどすためにみんなでがんばりたいです。そして、これからもソーシャル・ディスタンスや手あらいを心がけて生活をしていきたいです。

1学期をふり返って 6年2組 香山 綾音

今年は、コロナウイルスの影響で1学期の半分がなくなってしまいました。でも、この2か月でできるようになったことが二つあります。

一つ目は走ることです。私は走ることに苦手です。体育の授業が走ることにになると、私は「走るのいやだな。」と思ってしまいます。なので、私は速く走れるように、自しゆく期間の朝に走ったりしました。そうすると、体育で50メートル走のタイムがちんでいて、とてもうれしかったです。

二つ目は、社会の歴史です。私は昔から歴史がとても好きで、6年生になって歴史の勉強ができてうれしいです。最初に勉強した「縄文(じょうもん)時代」と「弥生(やよい)時代」のところでは、イラストを加えて後からでも分かりやすいようにノートにまとめました。次に勉強した「聖徳太子」のところでは、自分から積極的に発表することができました。普段は、自分から発表することが少ないのですが、得意な歴史においては、積極的に発表することができて良かったと思います。

明日から夏休みが始まります。夏休みの期間が短くなってしまいましたが、半年後には中学生になります。中学校では、持久走大会のきよりが長くなると思うので、夏休みの朝に走ることでスピードを速くしたいと思います。また、夏休みや2学期、3学期を通して6年生までの復習をして、歴史とはちがう分野でも発表できるように、中学校に向けて準備していきたいと思っています。

『いじめゼロ集会』

～ “いじめ” のない南小をめざして～

暑い8月がやってくると、47年前のできごとが、今でも鮮明に私の心によみがえってきます。私は小学校6年生でした。旧・大平町主催の地区別球技(野球)大会で、私のチームは勢いに乗って奇跡的に決勝まで勝ち進みました。キャプテンで4番・ピッチャーだった私は、もともとすぐ調子に乗る性格でしたので、一回戦から勝ち続けてきたことよって、かなり思い上がっていたのでしょう。決勝前に、試合に出られない下級生の仲間に対して、「補欠」という言葉をつかい、ベンチの前に集めました。「補欠、こちに集合。」と、私が叫んだ言葉を家族がしっかり聞いていました。決勝戦が終わり家に帰ると、「おまえが補欠と言われたらどう思う。」と冷静な声で言われました。大会の1年も前から苦楽をともにしてきた仲間に対して、あの一言で心を傷つけてしまったことを、私は大いに悔やみ、「なんて言えばよかったのだろうか。」と考えました。

一緒に生活している家族や仲間、地域の人たちの思いや願いを大切に、ともに助け合って生きていこうという思いや考えをもつことはとても大切です。我々は、それを人間関係の中で学びます。「こんなことを言ったら、こんなことをしたら友だちの心が傷つくかもしれない。」「こう言ったら、こうしたら友だちは元気を出すかもしれない。」と、相手の気持ちを常に考えながら生活することを、南小学校での生活の中で学びます。

夏休み前に、『いじめゼロ集会』を開催しました。児童会・計画委員会の6年生が中心になって、子どもたちの日常でよく見られる場面を役割演技。ビデオ撮影したものを、各クラス全員で視聴しました。視聴後に、仲間全員が幸せに生活するには、どんなことに気をつけたらいいかをクラス全員で考えました。体育館で一室に会さない集会でした。

ビデオをクラス全員で見る

こんな場面です

休み時間になった教室。「何して遊ぶ？」と数人が相談している近くで、一人で何かやっている仲間・Tくんがいる。その仲間に声をかけようかと迷いながら、数人は外に出て行ってしまふ。



クラス全員で話し合う

1・2年生

【楽しく遊ぶには・・・】

- ◆「みんなでやる？」と言ってさそう。
- ◆声をかけてあげる。
- ◆教室に戻ってさそう。
- ◆心を傷つけてしまったあやまる。
- ◆全員で相談する。
- ◆一緒に遊ばないとさそう。



3・4年生

【誰もTくんに話しかけなかった。なぜ】

- ◆みんな、Tくんのことを気にしていない。
- ◆早く遊びたくて。
- ◆声をかけてTくんに断られるのがいやだと考えた。

【どうすればいい・・・】

- ◆勇気を出して、Tくんに話しかけてさそう。
- ◆Tくんをさそってみんなで遊ぶ方法を考える。
- ◆一人ぼっちにしない。
- ◆Tくんの気持ちを考える。

5・6年生

【あなたがTくんなら・・・】

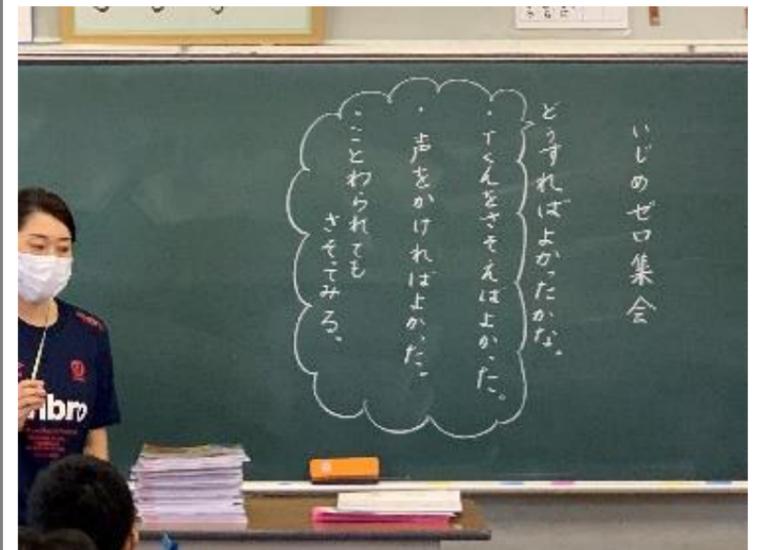
- ◆声をかけてほしいと感じた-多数
- 【何が問題だった?】
- ◆Tくんをさそわなかったこと。
- ◆さそって断られたらどうしようと考えたこと。
- ◆Tくんも話しかけることができる。

【どうさそう?】

- ◆「何してるの?」
- ◆「サッカー、好き?」
- ◆「一緒に遊ぼう?」と表情も見る。
- ◆「〇〇するけどどうかな?」と勇気を出して。

【全員が幸せになるには・・・】

- ◆Tくんに声をかけて決めた遊びを変えてもいいかも。
- ◆Tくんをさそってから遊びを考える。



どのクラスも有意義な話し合いができました。

第1学期
すいせん図書
読破賞

2年生…石島志ん平 大屋里彩 片柳さくら 川島くるみ 小林明歩 森ひなの【*敬称略】
3年生…小川来海
4年生…小林夕萌
6年生…須田宙斗 堀碧葉 真壁夏月